

会議録

| | | | |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|----|
| 会議名 (審議会等名) | 第5期第8回相模原市南区区民会議 | | |
| 事務局 (担当課) | 南区役所区政策課 電話042-749-2134(直通) | | |
| 開催日時 | 令和元年11月15日(金) 14時00分~16時14分 | | |
| 開催場所 | 南区合同庁舎3階 講堂 | | |
| 出席者 | 委員 | 17人(別紙のとおり) | |
| | その他 | | |
| | 事務局 | 16人(南区長、副区長、他14人) | |
| 公開の可否 | 可 不可 一部不可 | 傍聴者数 | 0人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 会議次第 | <p>1 開会</p> <p>2 会議の公開について</p> <p>3 報告 (1) 南区基本計画の答申について</p> <p>4 議題 (1) (仮称) 南区流ファシリテートスキルの検討について (2) 高校生がまちづくりに参画するための課題調査について (3) 無作為抽出型区民討議会について (4) 地域活動スポット参加の仕組みづくりについて</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p> | | |

審議経過

主な内容は、次のとおり。(は会長、 は委員、 は事務局等の発言)

1 開会

2 会議の公開について

(1) 傍聴の許可について

傍聴希望者なし

長谷川区長、松下会長のあいさつの後、議事が進められた。

3 報告

(1) 南区基本計画の答申について

資料に基づき事務局から、令和元年10月15日に松下会長から市長へ答申書を提出したことについて、報告。

また、今後、(仮称)行財政構造改革プランを策定することと、そのプランを踏まえる必要があることから実施計画の始期を1年遅らせることについて、説明。

4 議題

(1) (仮称)南区流ファシリテートスキルの検討について

資料に基づき、事務局から説明。

12月に開催される無作為抽出型区民討議会で南区若者参加プロジェクト実行委員会がこのファシリテートスキルを使って実践することで、意見をもらいたい。また、委員の活動などで試していただきたい。ここで作成するファシリテートスキルについては、標準的なものなので、早めに作成をして、それをベースにしながら改良を重ねていきたい。

会議に初めて取り入れる人が利用しやすいようにするには、ファシリテートやアイスブレイクなどの言葉に注釈を付けると良い。

アイスブレイクについては手遊びの例を入れるなど、もう少し砕けた事例を追加すると良い。

○グラフィッカーを実際に行えるか、出来るようなイメージがつくか、非常に難しいので、記載方法などを検討する必要がある。

例えば、女子美術大学の人に会議に来てもらうことも一つの手である。それが成果になれば、自身のキャリアにもなる。

グラフィックやファシリテートの流れを動画にするとわかりやすいのではないか。

○進行は進行役がいて、ファシリテーターは話し合いが円滑に進むような役割なので、進め方をきっちりと決めないほうが良い。

(2) 高校生がまちづくりに参画するための課題調査について

資料に基づき、事務局から説明。

居住地を聞くことによって、地域と高校生の結びつきがどうなのか傾向がわかるので、結果に興味がある。

地域活動に参加したことがある理由と参加したことがない理由をアンケートで聴取し、その結果をもって、アプローチの方法や活動しやすい条件などを検討できると良い。

相模台地区自治会連合会で学習支援に対する委員会を作っており、麻溝台高校の生徒に小学生の学習支援ボランティアとして、参加をいただいている。どのように高校生に参加をいただいたかというところ、高校の校長先生のところに直接お話に行き、高校から生徒にアプローチをしてもらった。

地域活動がわからない高校生がいると想定すると、自由記述の部分は、是非とも知って欲しい活動を例示し、丸をつけるなど、アンケートを通して地域活動自体を周知することも良い。自由記述までの設問で事例が幾つか出ているので、自由記述ではそれ以外に参加してみたいものとする方がわかりやすいのではないか。

自由記述欄に例示をするのではなく、高校生の発想で自由に記述していただき、それを今後の検討材料にしていきたい。

地域活動についてのイメージを聞いてみてはどうか。

小中学生の時には比較的地域活動に参加をしているように感じているが、高校生になると参加をしなくなってしまう。その原因についての意見を聞いてみてはどうか。

自由記述の「あなたがやってみたいと思う活動」について、スペースを多くすることによって、高校生の深い意見を聴取することができるのではないか。

今回は、これから高校生にまちづくりに参画をしていただくための基礎的な調査であるので、あまり欲張り過ぎずにアンケートを行いたい。

地域活動の項目として、単純に環境美化活動や自治会活動と書くのではなく、例えば、防犯・

防災であれば夜回りなど、担任の先生などから補足説明があると高校生にわかりやすくなる。学校にあまり負担をかけないように行えると良い。

アンケートについては今回の意見を踏まえて、多少修正をして実施することとしたい。その結果を踏まえて、グループワークを行うなど、次の方法を考えていく。

(3) 無作為抽出型区民討議会について

資料に基づき、事務局から説明。

無作為抽出型区民討議会での成果は何を目標としているのか。

スポット参加の事例を出していただき、そこから共通の条件などを検討していただき、今後の区民会議の資料とするものである。

当該事業の運営委員会では、出された事例に対して、どのように情報発信をすれば参加者が集まるかについても話し合うことを考えている。

サブタイトルの「しゃべくり3739」の「3739」はどういう意味か。

語呂合わせである。(ミナミク)

(4) 地域活動スポット参加の仕組みづくりについて

資料に基づき、事務局から説明をした後に、A～C班に分かれてワークショップを行った。

【各班の主な意見】

(A班)

- ・スポット参加については、受け入れ側の準備が必要である。例えば、運営の仕事をしてもらうのは大変であるので、それ以外のスポット参加をしてもらう内容やタイムテーブルをはっきりさせておく必要がある。
- ・受け入れ側と参加者の全く知らない同士が当日に会って、何かをやるということは難しいと思う。信頼関係を築く仕組みや身分証明など、双方のマッチング方法を考えなくてはならない。

(B班)

- ・企画と発信が必要であるが、若い世代を誘うにはスマートフォンの動画やSNSの活用が考

えられる。例えば、スマートフォンのアプリで「困っている」と発信すると、近くの人が助けにきてくれるようなシステムが既にあるので、そういうものを活用してPRすることも良い。

- ・準備については、場所や保険、連絡網、個人情報の管理、役割分担、時間を合わせる、スケジュールを共有する、何をやるかを理解してもらうことが必要である。併せて、価値の共有などの細かいところを調整する必要がある。
- ・実施の段階では、入り込みやすいように知り合いを誘うことやチームを作ること、リーダーを紹介して仲良くなる必要がある。また、何よりも笑顔で良い雰囲気を作って、やる時にはとにかく理屈なしで動いてもらう。
- ・スポット参加を継続していくには、アプリを使ったポイント制などが、モチベーションになると考えられる。

(C班)

- ・このスポット参加は単なるお手伝いなのか、将来的に運営者になっていけるのか、課題がある。単なる手伝いを増やすことが目的では違和感がある。
- ・単純な作業やその事業の中身がはっきりしていれば呼びかけはしやすいと思う。目的が共有できれば、スポットでの参加者を集められると思う。

C班から出された意見のように、スポット参加のそもそもの意味が問われるような側面も確かにあると思う。しかしながら、これまで長期間・長時間の参加と同時に、このようなスポット参加の取組も並行的に進めていく必要があると感じている。この検討には時間がかかると思うので、じっくりと考えていきたい。

5 その他

- ・委員から相模女子大学グリーンホールで行われる「さがプロ2020文化事業」について、情報提供。
- ・委員からユニコムプラザさがみはらで行われる「2019年度まちづくりモデル事業実施報告会」について、情報提供。
- ・事務局から「麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整備事業の取組状況及び検証の経過の概要」について、説明。
- ・事務局から、次回の会議日程について、令和2年1月下旬に開催する旨報告。

6 閉会

坂本副会長の挨拶のあと、閉会

相模原市南区区民会議委員名簿

(順不同・敬称略)

| | 氏名 | 所属等 | 出欠席 |
|----|--------|-----------------------------------|-----|
| 1 | 安藤 晴 敏 | 公募委員 | 出席 |
| 2 | 飯村 和 道 | 女子美術大学芸術学部 名誉教授 | 欠席 |
| 3 | 井部 弥 生 | 相模原市民文化財団 総務課長 | 出席 |
| 4 | 大木 恵 | 大野南地区まちづくり会議 会長 | 出席 |
| 5 | 大坂 理 智 | 南区若者参加プロジェクト実行委員会 | 出席 |
| 6 | 金森 巖 | 相模原・町田大学地域コンソーシアム 業務部部長補佐 | 出席 |
| 7 | 牧野 里 咲 | ジェイコムイースト相模原・大和局 | 欠席 |
| 8 | 草薙 喜 義 | 相模原市社会福祉法人経営者協議会 会長 | 出席 |
| 9 | 九嶋 俊 彦 | 相模原青年会議所 常任理事 | 出席 |
| 10 | 坂本 堯 則 | 相模原市自治会連合会 会長 | 出席 |
| 11 | 篠塚 実希子 | 相模台地区まちづくり会議 副会長 | 出席 |
| 12 | 杉本 祥 一 | 相模原商工会議所 常議員 | 出席 |
| 13 | 鈴木 貴 市 | 相模原南交通安全協会 会長 | 欠席 |
| 14 | 瀬尾 守 一 | 相武台地区まちづくり会議 会長 | 出席 |
| 15 | 田中美 加 | 北里大学看護学部 教授 | 出席 |
| 16 | 中島 勝 平 | 麻溝地区まちづくり会議 会長 | 欠席 |
| 17 | 中島 千 尋 | 相模原市地区社会福祉協議会南区連絡会 | 出席 |
| 18 | 中村 方 子 | 相模原市民生委員児童委員協議会 会計 | 出席 |
| 19 | 原田 征 士 | 公募委員 | 欠席 |
| 20 | 古木 昇 | 東林地区まちづくり会議 会長 | 欠席 |
| 21 | 古田 政 子 | 子育て親育ち応援団with.cfc 副代表 | 欠席 |
| 22 | 穂苅 健 二 | 新磯地区まちづくり会議 会長 | 欠席 |
| 23 | 松下 啓 一 | 相模女子大学夢をかなえるセンター エグゼクティブアドバイザー | 出席 |
| 24 | 森 逸 雄 | 大野中地区まちづくり会議 会長 | 出席 |
| 25 | 横山 真 琴 | 公募委員 | 出席 |